

TCP-VSP マルチプロセッサでの使用について

2版 2008年4月21日

1. 概要

1. 1 概要

TCP-VSP は、マルチプロセッサに対応していないため、マルチプロセッサ環境では、正常に動作しない場合があります。本アプリケーションノートでは、不具合内容と対応策を説明します。

1. 2 対象バージョン

- ・TCP-VSP は Ver1.14 以前のすべてのバージョン
- ・TCP-VSP for ezTCP は Ver1.04 以前のすべてのバージョン

※本不具合は TCP-VSP Ver1.20 及び TCP-VSP for ezTCP Ver1.10 以降のバージョンで改善されています。

1. 3 発生条件

ハードウェア : マルチプロセッサ (デュアルコア、デュアル CPU、ハイパースレッド 等) 搭載の PC
OS : Windows2000、WindowsXP

2. 不具合内容

使用する OS 等の環境によって症状が変わりますが、現在以下の症状が確認されています。

- ・通信途中で Windows がフリーズする。
- ・通信途中で Windows が再起動する。

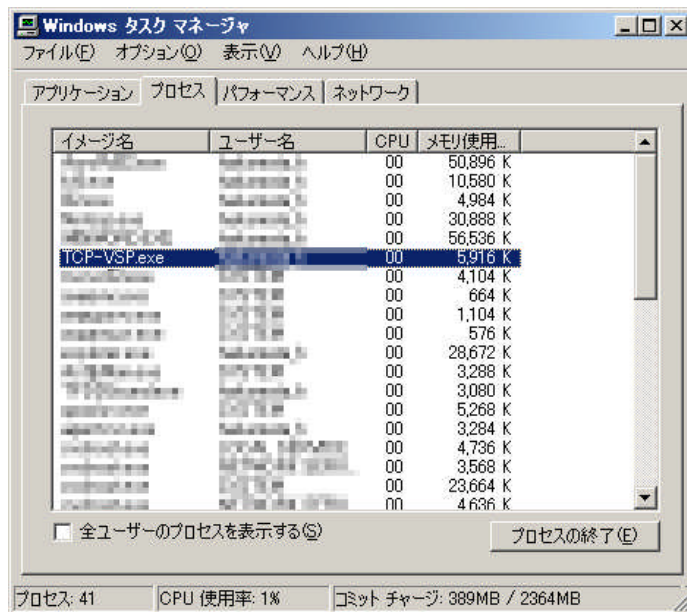
3. 対策

症状が起こる環境では、以下の手順を用いることで症状を回避することが可能です。

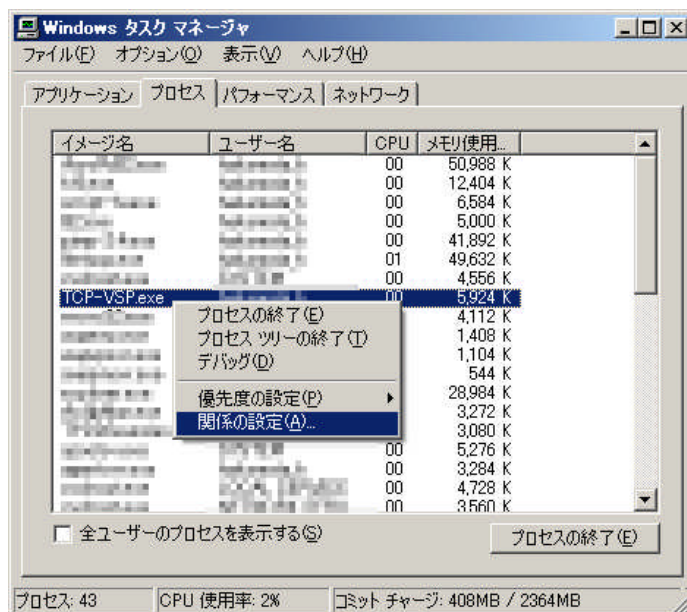
3. 1 使用 CPU を 1 つに制限する

以下、WindowsXP を使用しての手順となります。

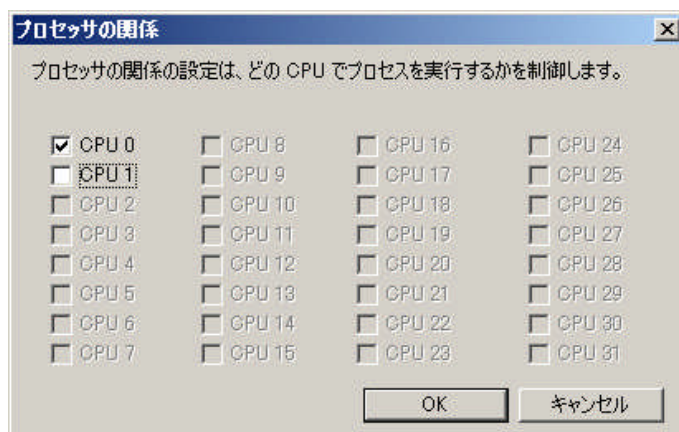
- ①Windows のタスクマネージャを起動します。
- ②「プロセス」タブを選択し、表示される一覧から「TCP-VSP.exe」を選択します。



- ③マウスの右クリックで表示されるメニューから「関係の設定」を選択します。



④以下のウィンドウが表示されますので、CPU0 以外のチェックをはずします。



⑤同様に手順②～④を COM アプリケーションに対しても行います。

上記設定を行うことで、TCP-VSP 及び COM アプリケーションがシングルプロセッサで動作するのと同じ状況になりますので、本アプリケーションの症状が起こらなくなります。

ご注意

- ・ 本文書の著作権は（株）アルファプロジェクトが保有します。
- ・ 本文書の内容を無断で転載することは一切禁止します。
- ・ 本文書に記載された回路図およびサンプルプログラム等の著作権は（株）アルファプロジェクトが保有しますが、お客様のアプリケーションで使用される場合には、ご自由にご利用いただけます。
- ・ 本文書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本文書に記載されている内容およびサンプルプログラムについての質問等のサポートは一切受け付けておりませんのでご了承ください。
- ・ 本文書の内容については、万全を期して作成いたしました。万が一不審な点、誤りなどお気づきの点がありましたら弊社までご連絡下さい。
- ・ 本文書の内容およびサンプルプログラムに基づき、アプリケーションを運用した結果、万一損害が発生しても、弊社では一切責任を負いませんのでご了承下さい。

- ・ Windows®の正式名称は Microsoft®Windows®Operating System です。
Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Windows®Vista、Windows®XP、Windows®2000 は、米国 Microsoft Corporation.の商品名称です。
本文書では下記のように省略して記載している場合がございます。ご了承ください。
Windows®Vista は Windows Vista もしくは WinVista
Windows®XP は Windows XP もしくは WinXP
Windows®2000 は Windows 2000 もしくは Win2000
- ・ その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。



株式会社アルファプロジェクト
〒431-3114
静岡県浜松市東区積志町 834
<http://www.apnet.co.jp>
E-MAIL : query@apnet.co.jp